

## ◆◆ 部活動大会の結果 ◆◆

### 【バドミントン部】

第41回北海道中学生新人バドミントン選手権大会

第35回釧根地区予選会

～11月26日、12月3日 釧路町総合体育館～

◎男子団体 3位入賞

1回戦 別保 2 - 1 厚岸  
準決勝 別保 1 - 2 計根別

◎女子団体

1回戦 別保 0 - 2 景雲

◎男子シングルス

・遠藤 聖也(2年) 優勝  
・諸田 奨(2年) 初戦敗退  
・安田 都羽(2年) 初戦敗退  
・鵜澤 翠海(1年) 2回戦進出

◎女子シングルス

・佐藤 琴葉(1年) 2回戦進出

◎男子ダブルス

・大塚瑠暁(2年)・金澤 鈴(2年) 準優勝

◎女子ダブルス

・大屋穂乃果(1年)・坂本茉那(1年) ベスト8  
・畑中瑠衣(2年)・目黒こは(1年) 初戦敗退  
・小野湖春(1年)・三上紗花(1年) 初戦敗退

## 明日から冬休みです



明日から冬休みに入ります。先日配付された「冬休みの生活の心得」をご家庭でしっかりお読みいただき、お子様と安全についてしっかりと話していただきたいと思います。冬**の生活3原則**は、**1 命を大切にする 2 規則正しい生活を送る 3 非行・事故をおこさない**です。特に冬道は車のブレーキが利かず、止まらないことがよくあるので、信号が青になっても車が来ていないかを確認することが大切です。また、お子様の外出時には、行き先・同行者・帰宅時刻を必ず聞くなど、ご家庭での約束を大切にしてください。新型コロナウイルス感染症も油断できません。ご家庭でも感染対策をしっかり取るようお願いいたします。



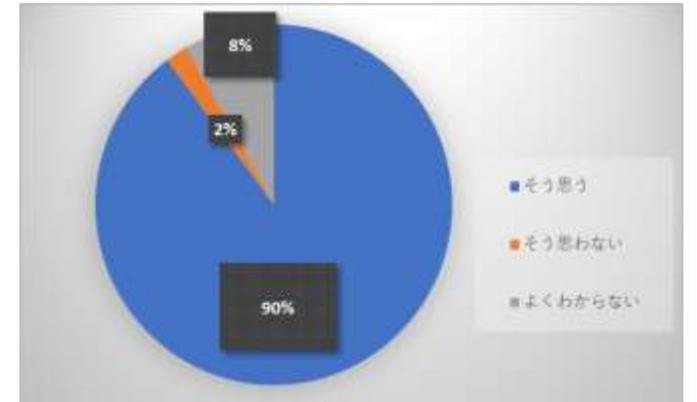
## いじめアンケートの結果から



10月11日(月)、今年度2回目の「いじめアンケート」を実施しました。右のグラフは『「いじめ」はどんな理由があっても許されないことだと思いますか』に対する全校の回答状況です。

理由があれば相手に対して悪口や陰口を言ったり、無視したりしてもいいのでしょうか。お互いにしっかりと話をして、自分を振り返ったり相手を理解したりすることができるように、学校・家庭・地域で子どもたちを導いていかなければなりません。

本校では、悪口を言われたり、仲間はずれや無視をされたりなどで『嫌な思いをしたことがある』と回答した生徒が全体の23%、また『友人が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがある』と回答した生徒も全体の36%おりました。これらの回答に対しては、学級担任を中心に事実確認し、全教職員で情報を共有して改善に向けて取り組んでいます。



## 税についての作文表彰

12月2日・金に、釧路税務署の方々が入校されて、本校校長室において「税についての作文」の賞状授与が行われました。

3年生の原田さんが賞状と記念品を授与していただきました。おめでとうございます。



(当日欠席した、3年生の森田さんと立花さんは、後日賞状と記念品を担任から渡してもらいました。)

リズムを維持し、



早ね・早おき・朝ごはん!

## 体罰等に係わる実態把握調査のお願い

12/20・火に配布致しました、標記の調査票の提出期日が1/20・金までとなっております。まだ、未提出のご家庭におかれましては、期日までの提出の程お願い致します。

## 子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。

●電話相談

☎ 0120-3882-56 (無料、毎日24時間対応)

●メール相談

sodan-center@hokkaido-c.ed.jp ※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

上記以外にも、生徒の相談窓口が各種設置されています。学校ホームページの最近の投稿(12/7付け)に掲載しております。



<https://beppojh.kushirocho.ed.jp/>

## 第2回 CS 委員会開催



コミュニティ・スクール(以下「コミスク」)、第2回目の学校運営協議会が12月1日に行われました。まずはじめに、別保小・中の教頭から今日までの教育活動、前期学校評価、全国学力・学習状況調査の報告を委員の方々に報告しました。

次に、別保地区小中共同課題の「地域と一緒に児童生徒が参加した町づくり～「おはよう」「こんにちは」あいさつが響きわたる 私たちの町 別保」の解決に向けて、委員の方向士でグループワークを行い、意見を出し合いました。前半は、学校でのあいさつの様子・地域で身に付けたいあいさつの習慣について、後半は、あいさつが響きわたる町に向け、地域の大人にできることの解決策について各グループで意見を出し合い、最後に全体で意見を共有しました。意見を出し合う場面では、「あいさつの意識が子どもたちによってちがう」「心のこもったあいさつができるような子どもたちを育てることが大切」「地域とふれあう場面を増やしていく」「あいさつがしやすい別保地区づくり」などの声が聞かれました。

今回の協議会では、各グループワークで出された「地域としてできること」のご意見を、ポスター形式でまとめ、「学校としてできること」「子どもたちができること」を含めて3本の柱の解決策を提示し、熟議を重ねていきます。「地域とともにある学校づくり」を目指すためにも、引き続き委員の方々のお力添えをお願いいたします。

明日から始まる冬休み、子どもたちは家庭、地域に戻ります。温かく見守っていただけますようお願いいたします。

